

## 配線リングの適用拡大の考案

\*提案者：株式会社SYSKEN  
設備部 アクセス部門  
市村 勝利  
☎096-284-1159

### 【概要】

単独柱においては、配線リングを使用して配線を実施している中、共架柱においては光ドロップを配線する場合、既設配線リングがあるにもかかわらず、別途、光引込線把持具を取り付ける必要がありました。

そこで、既設配線リングを用いて光ドロップの配線を行うことで、作業の効率化および、コストの削減となる方法を考案しました。

### 【特徴】【効果】

既設配線リングを利用し、工法を簡素化することで作業の効率化および、コストの削減ができます。

#### ①作業の効率化

- ・作業時間の短縮（10秒～20秒の削減）
- ・既設を利用することで取り付けの失念を防止。手戻り削減。

#### ②コストの削減

1カ所あたり約40円～80円（▲50%）の削減

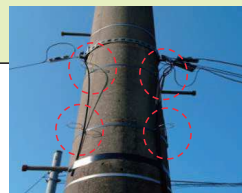
### 現状

共架柱において配線リングとは別に光引込線把持具を取り付けて配線要す



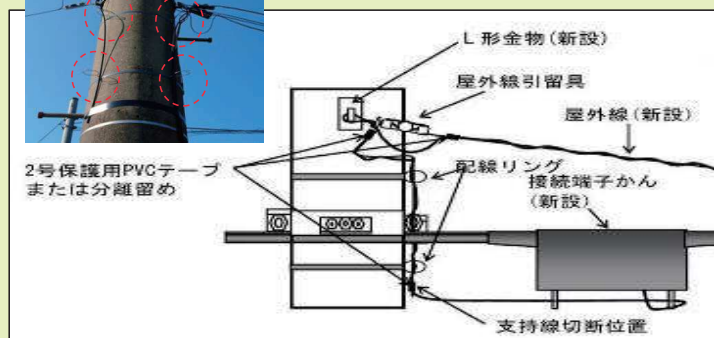
### 提案

「配線リング」を適用拡大することで「光引込線把持具」を廃止し、作業時間の短縮、材料の統一化および材料費の削減を図る。



2号保護用PVCテープ  
または分離留め

【提案内容】  
共架柱において配線リングを用いて光ドロップ配線



## Aテープボンド取付方法の改善

\*提案者：㈱SYSKEN

技術総合センタ 技術開発部

杉迫 義和

☎096-285-1303

### 【概要】

CCPケーブルの外被接続において、Aテープボンド取付作業は不安定な状態での外被切り裂き作業となるため、ラップカッターによる怪我やケーブル損傷につながる危険性があります。

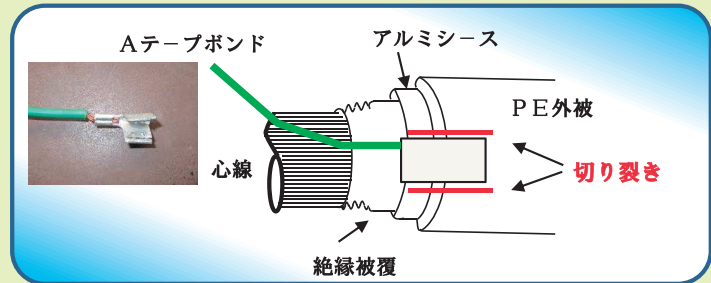
そこで、アルミシースと絶縁被覆の間にAテープボンドを挿入しアルミシースに密着させることで導通させ、外被切り裂き作業を要せずAテープボンドを取付けできる方法を考案しました。

### 【特徴】【効果】

- ①ケーブル外被の切り裂き作業を不要としたことにより、
  - ・怪我やケーブル損傷の防止
  - ・作業時間の短縮（1分42秒・35%削減）
- ②Aテープボンドの形状を変更し市販の圧着端子を採用したことにより、
  - ・物品価格の低廉化（1本当たり約35.5円・47%削減）
  - ・現場での作成も可能となり手戻り防止

### 現状

PE外被とアルミシースを縦に切り裂きAテープボンドを圧着し接続



### 提案

切り裂き作業を要せずアルミシースと絶縁被覆の間にAテープボンドを挿入しアルミシースに密着させることで導通させる

